

原水爆禁止 2019 年世界大会 首長メッセージ

稲城市長 高橋 勝浩

世界における核の状況は、依然混迷を極めており、今後も核兵器廃絶を求める取り組みが重要と思っております。

戦争体験者が年々少なくなる中、現代を生きる私たち一人ひとりが、原水爆の事実を知り、その悲惨さと平和の尊さを次世代へ伝えていくとともに、74 年前、広島・長崎に原爆が落とされた日に、「核」のあり方についてそれぞれが考えることも重要な責務であると考えます。そして、それが核兵器廃絶と世界平和の実現につながる一步になると確信しております。

結びに、関係者の皆さまのご尽力に心から敬意を表しますとともに、本大会を通じて活動の輪が大きく広がり、平和な世界を願う心が多くの人々に届くことをご祈念いたします。